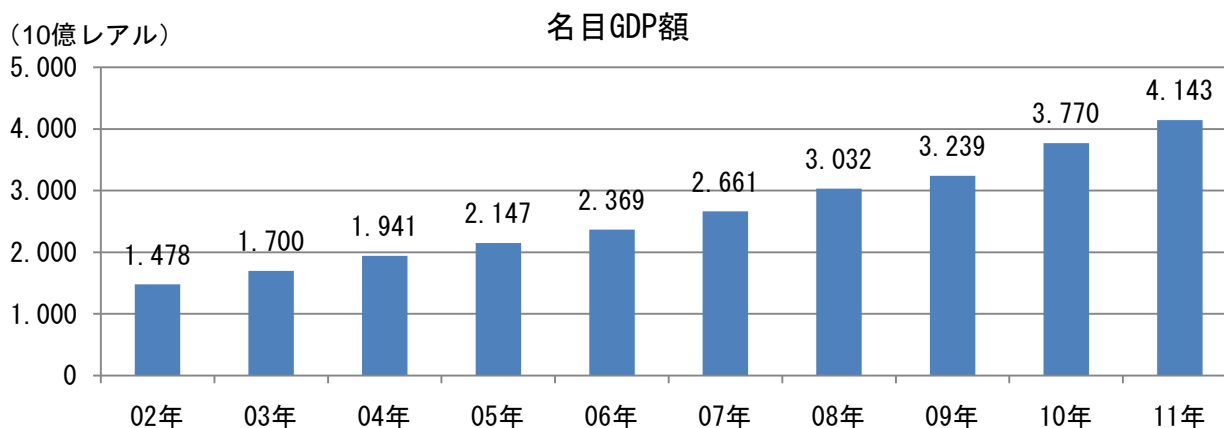
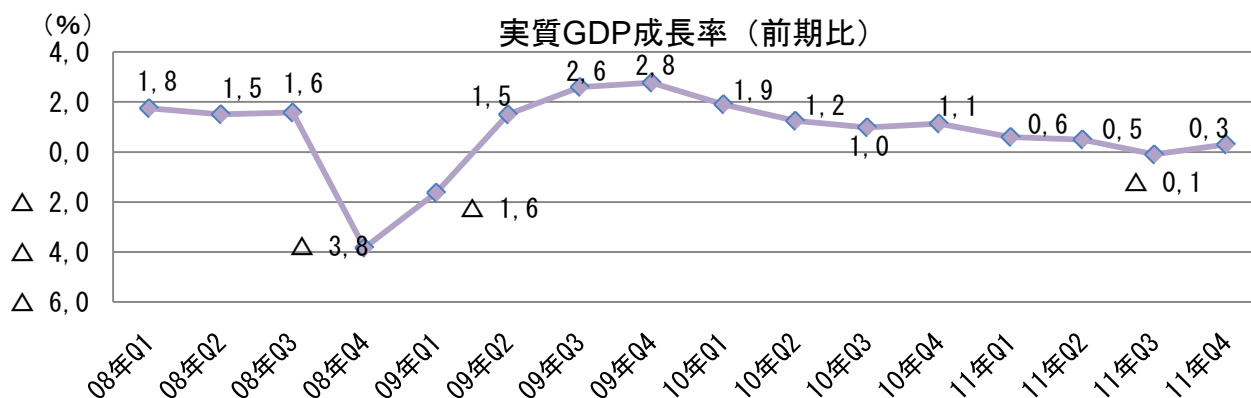
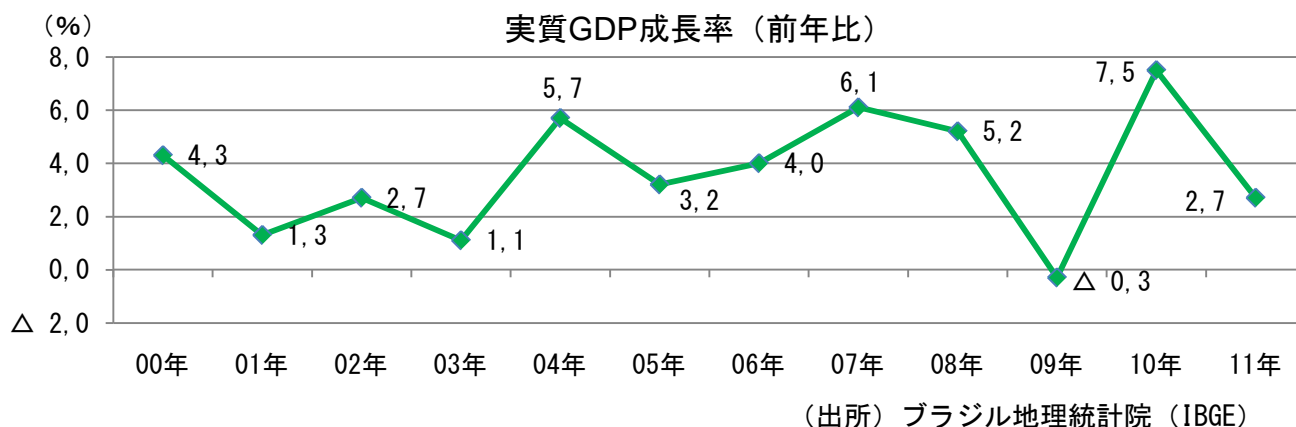


ブラジル経済（概要）

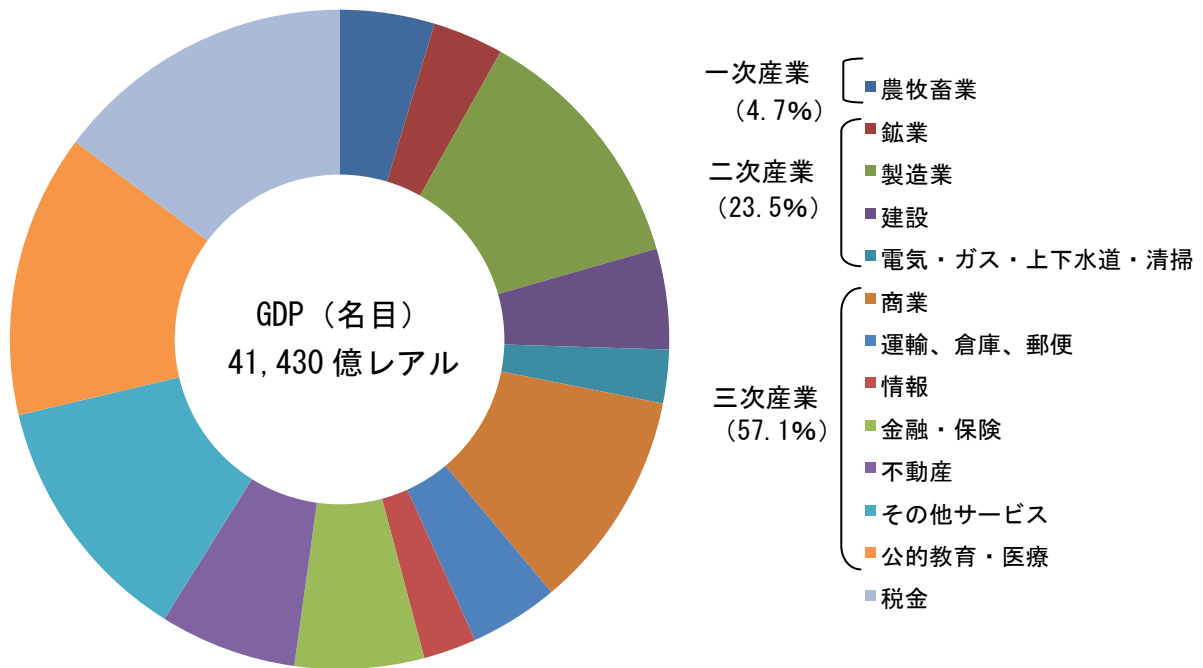
2012年5月
在ブラジル日本国大使館

1. GDP 成長率

2011年実質GDP率は、2.7%（2010年7.5%）と低調であったものの、IMFの発表によると、ブラジルの2011年GDPは英国を抜いて世界第6位。2012年GDP成長率予測については、中銀3.5%、IMF3.0%。

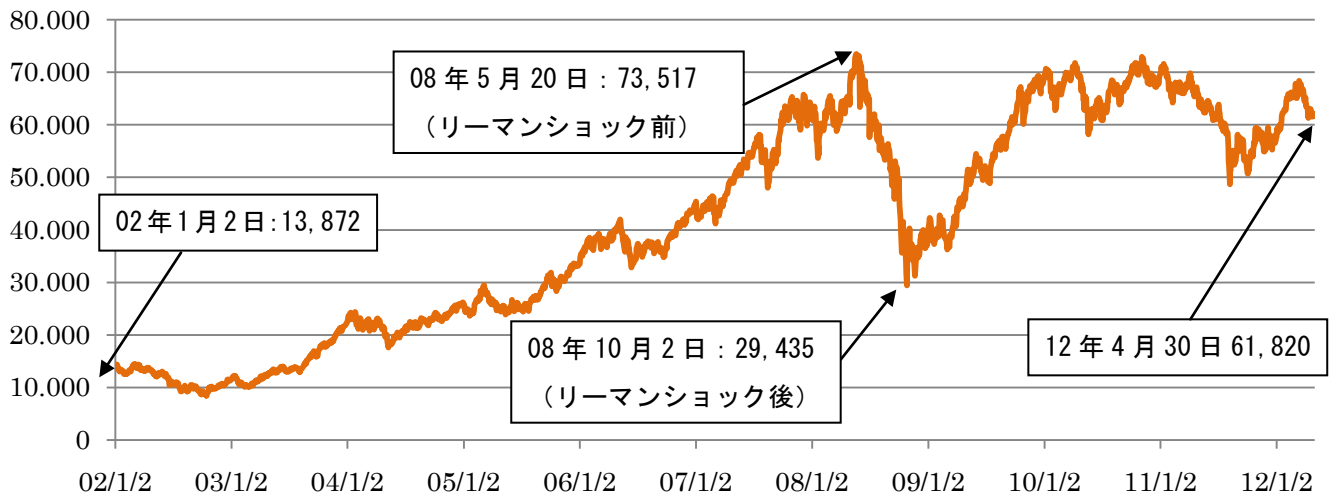


2011年セクター別 GDP（名目）構成比



(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

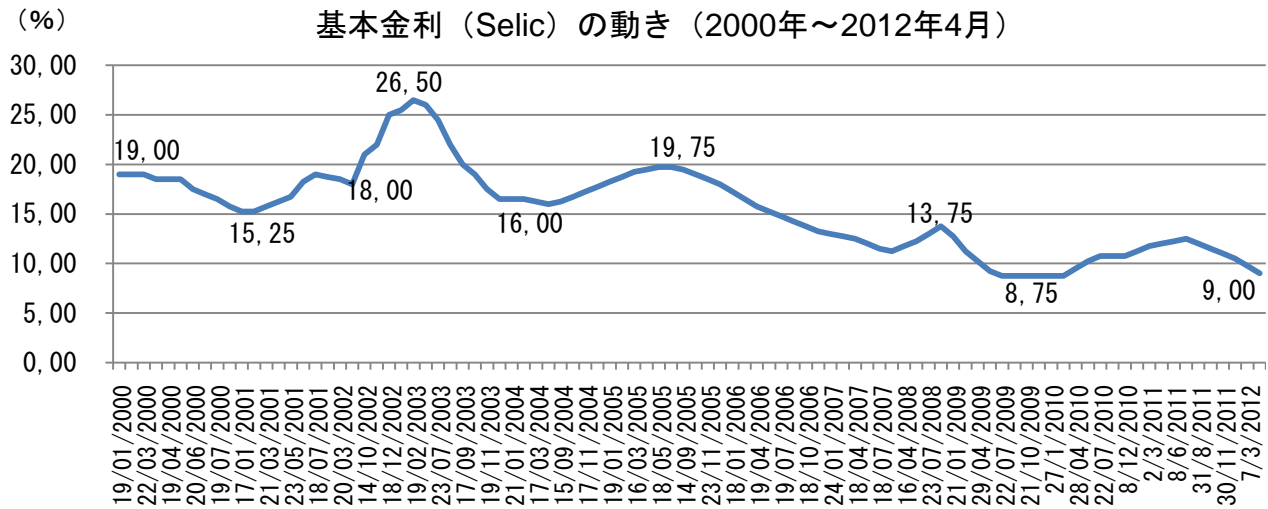
株価指数 (Bovespa)



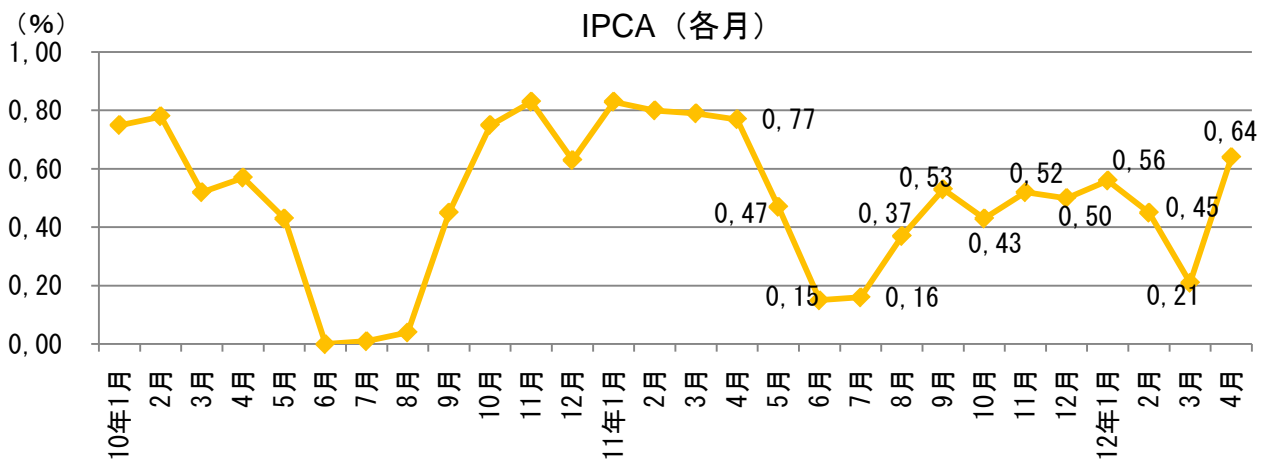
(出所) B&M BOVESPA

2. 金利, インフレ動向

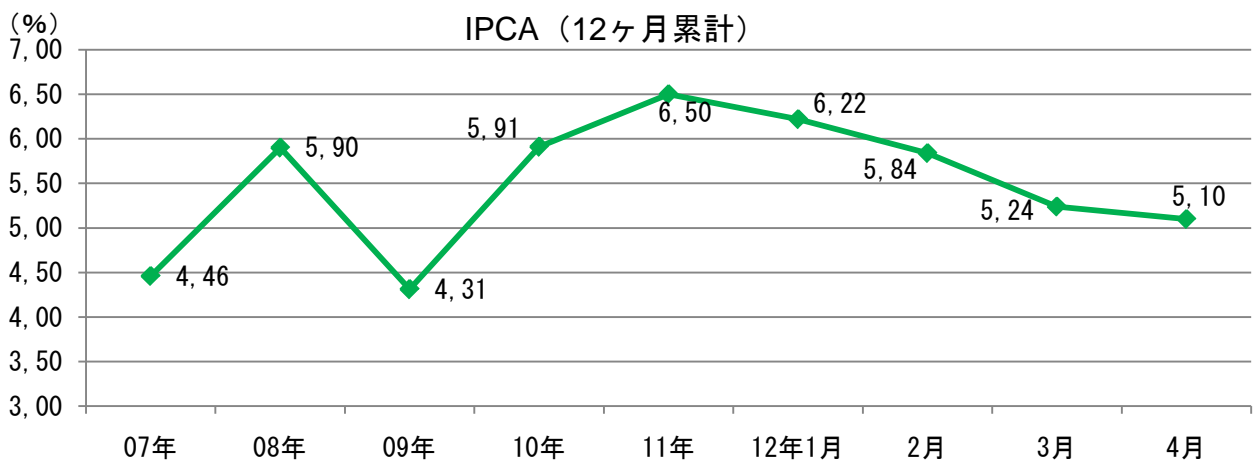
現在、基本金利は9.0%。ポウパンサ預金の金利変更により、更なる基本金利引下げ観測が出ており、アナリストは今年基本金利を7.5~8.0%と見ている。4月（単月）のIPCAは、前月と比べ上昇している。



(出所) ブラジル中央銀行



(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)



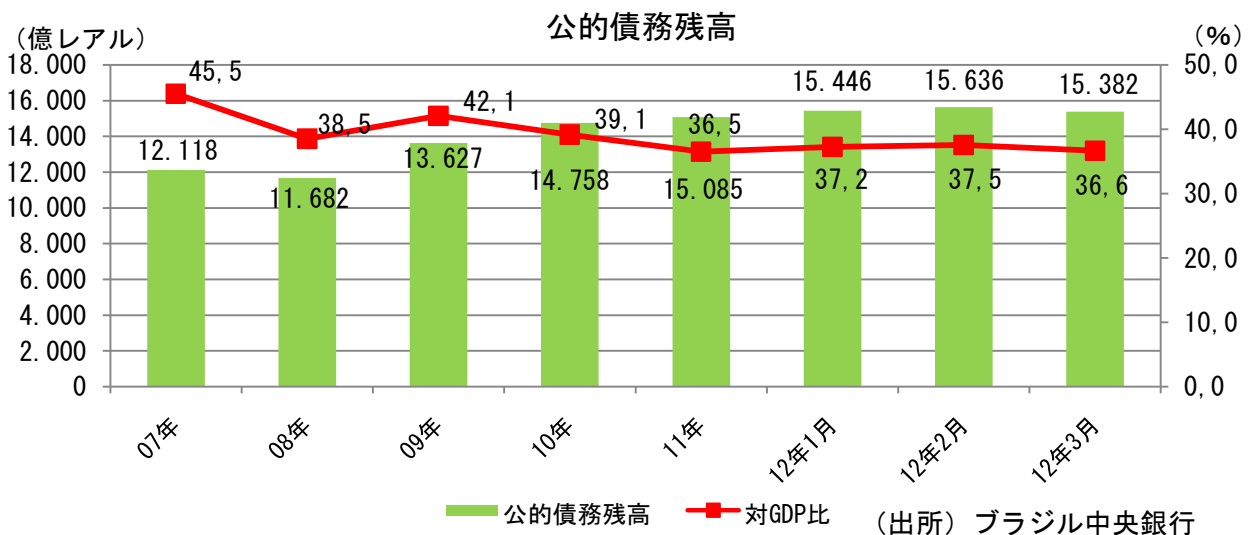
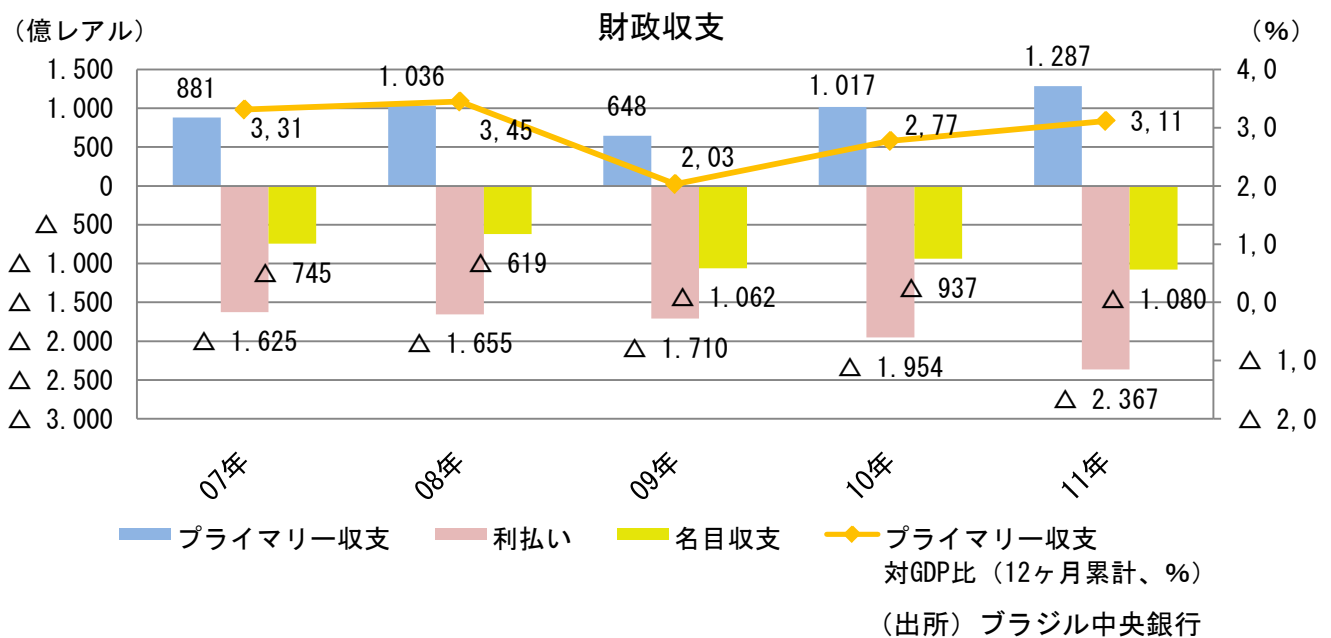
(注) 10年までは12月時点の12ヶ月累計

(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

3. 財政収支

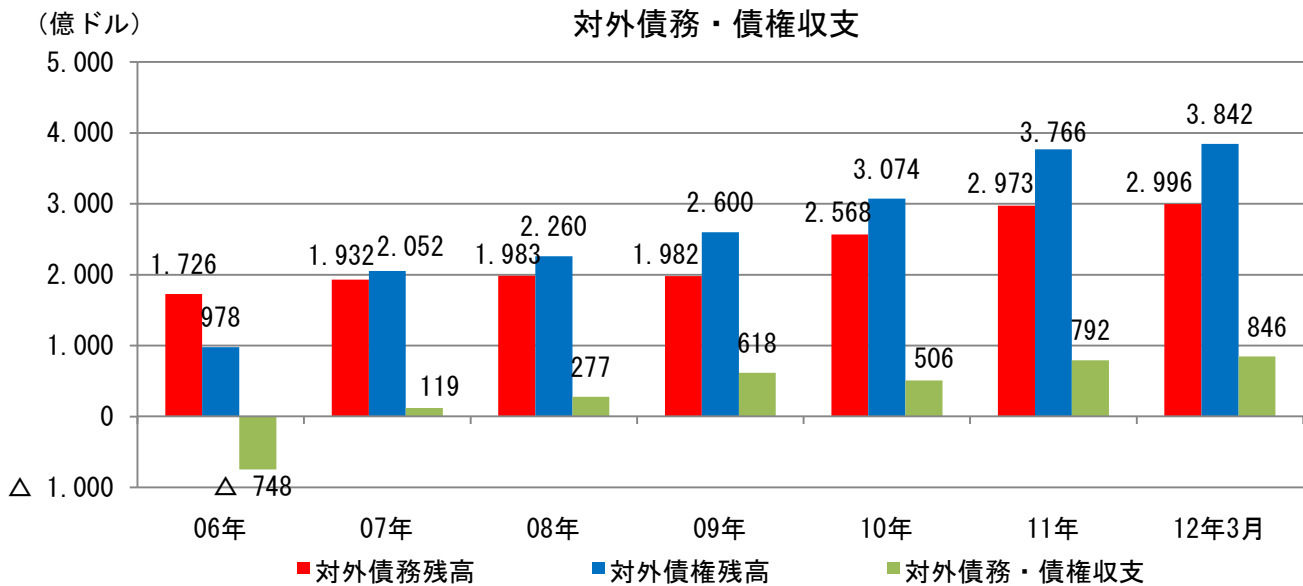
ブラジル政府の財政は、好調な税收等により、順調であり、2011年のプライマリー収支（対GDP比）は+3.11%であった。なお、2012年のプライマリー収支黒字目標は、1398億レアル（対GDP比：3.1%）である。

	12年3月
プライマリー収支(億レアル)	104
利払い(億レアル)	△ 210
名目収支(億レアル)	△ 106
プライマリー収支 対GDP比(12ヶ月累計、%)	3.22



4. 対外債務

過去に大幅な対外債務に苦しんだブラジルであるが、07年に対外債権（外貨準備高、海外融資等）が対外債務を上回り、純債権国となっている。

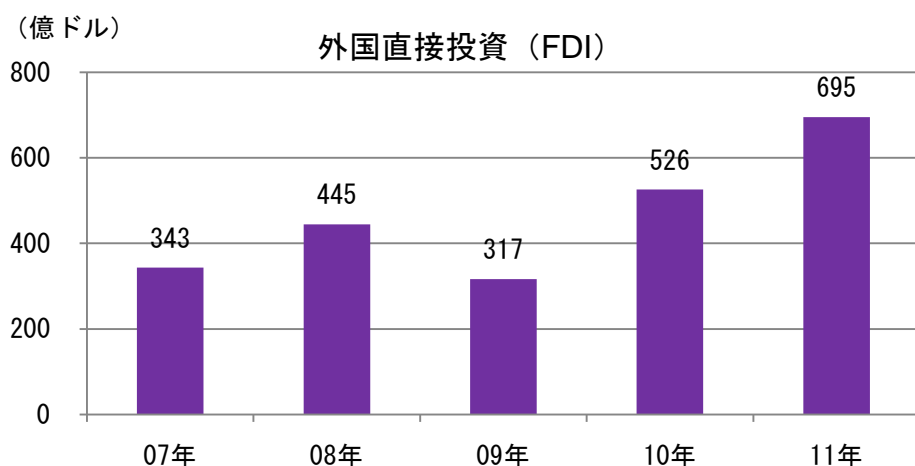
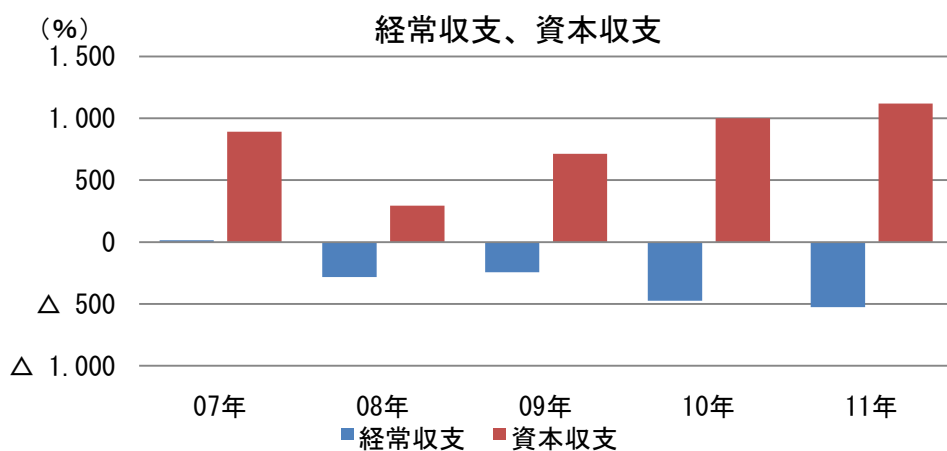


(出所) ブラジル中央銀行

5. 国際収支

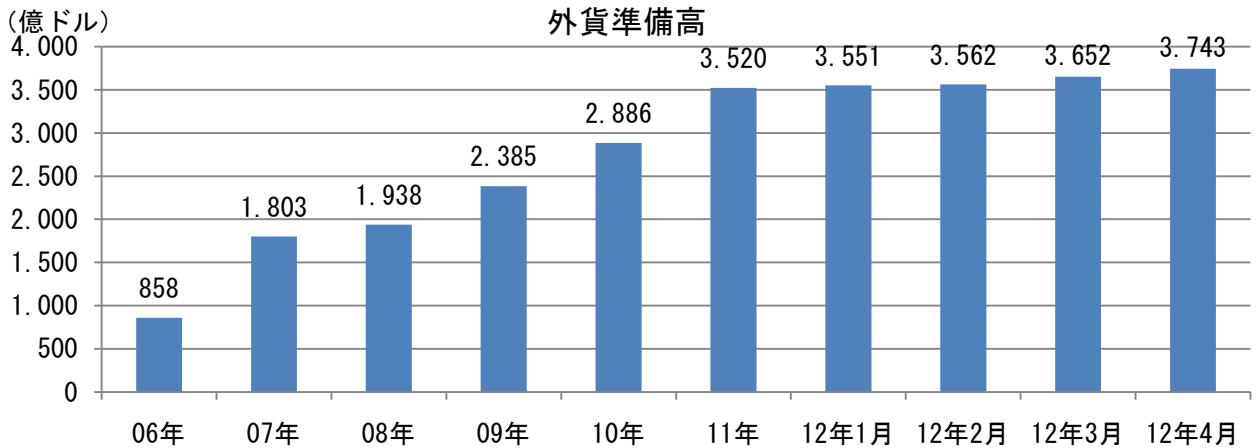
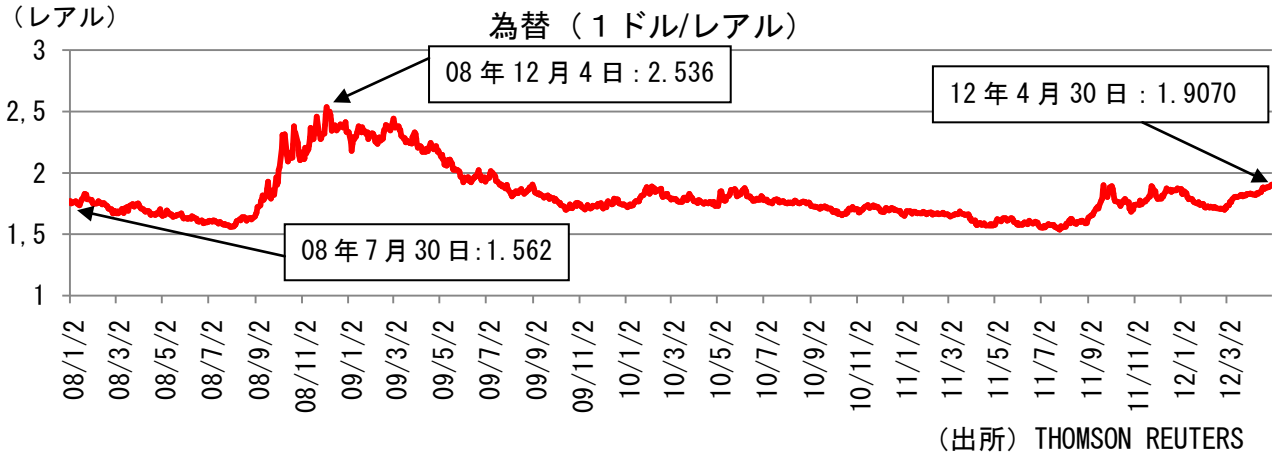
今年3月の経常収支赤字は、所得収支（約△24億ドル）が、前年同月比47%減少したこと等により、前年同月の57億ドルから33億ドルに縮小。今年1～3月の経常収支赤字については、昨年同期比18%減。また、今年1～3月の外国直接投資（127億ドル）は、前年同月（143億ドル）と比べ11%減少。

(単位) 億ドル	07年	08年	09年	10年	11年	12年1～3月
経常収支	16	△ 282	△ 243	△ 475	△ 526	△ 121
貿易収支	400	248	253	203	298	24
サービス・所得収支	△ 425	△ 573	△ 529	△ 706	△ 852	△ 152
経常移転収支	40	42	33	28	28	7
資本収支	891	294	713	1001	1119	239
投資収支	883	283	702	990	1103	235
直接投資	275	246	360	370	760	204
対外直接投資	△ 71	△ 205	101	△ 115	93	54
対内直接投資	346	451	259	485	667	149
証券投資	484	11	503	645	251	37
デリバティブ	△ 7	△ 3	2	△ 1	0	△ 0.0
その他投資	131	29	△ 163	△ 23	92	△ 5
その他資本収支	8	11	11	11	16	4
誤差・脱漏	△ 32	18	△ 3	△ 35	△ 6	6



6. 為替, 外貨準備高

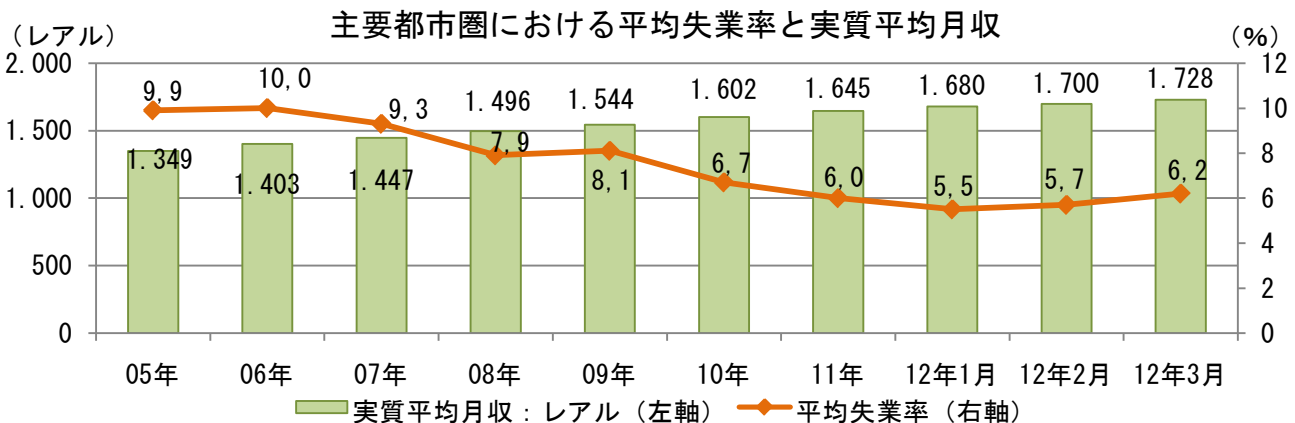
3月5日、伯政府は、国内産業を保護するため、外国からの融資に対する金融取引税6%の課税対象を5年以下の融資にまで拡大。伯政府は3、4月にかけて為替介入（3月：約30億ドル、4月：約55億ドル）を強めており、4月30日の為替相場は1ドル：1.9070レアルであった。



7. 労働市場

(出所) ブラジル中央銀行

平均失業率は今年1月以降で0.7%上昇。今年3月の平均月収（1728レアル）は、昨年同月（1637レアル）から5.6%上昇した。



(注) 11年までは年平均値

(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

* 主要都市圏：サンパウロ、リオデジャネイロ、サルバドール、レシフェ、ペロオリゾンチ、ポルトアレグレ